

市の動向を、タイムリーに掲載します

●非接触型AI検温器を設置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため、市役所の正面玄関、北側玄関、地下1階の時間外受付に非接触型AI検温器を設置しました。



検温の結果、体温が37.5℃以上の場合、庁舎内への立ち入りは原則ご遠慮ください。ご理解とご協力をお願いします。

問合せ 財産管理課へ内線3554

●第2次狭山市都市計画マスタープランを策定

「都市計画マスタープラン」は、都市計画法第18条の2に基づいて定める「市の都市計画に関する基本方針」で、狭山市総合計画と県の都市計画区域マスタープランを上位計画として、市の都市計画事業や各種まちづくりの施策を進めるための指針となります。2年12月に社会情勢などの変化に応じた内容を加味した「第2次狭山市都市計画マスタープラン」を策定しました。



問合せ 都市計画課へ内線2216

●埼玉りそな銀行との地方創生並びに官民連携の推進に関する連携協定を締結

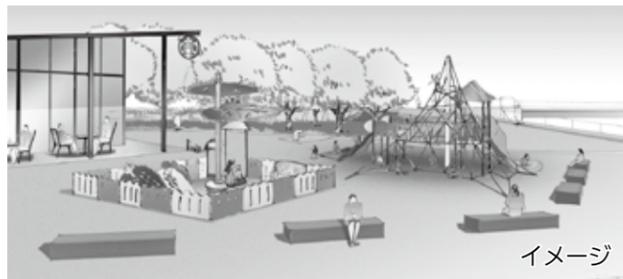
12月23日(水)、持続可能なまちづくりのため、埼玉りそな銀行と「地方創生並びに官民連携の推進に関する連携協定」を締結しました。今後、地方創生の推進をはじめ、SDGsの推進や公共施設マネジメントなどに関し、連携していきます。

問合せ 政策企画課総合戦略推進室へ内線7151

●河川敷中央公園の愛称が決定

入間川の河川敷中央公園の愛称募集に、市内・市外から734件の応募がありました。選定委員会による選考ならびに市内公立小学校の児童による投票の結果、愛称は「入間川にここにこテラス」に決定しました。

たくさんのご応募ありがとうございました。



イメージ

問合せ 商業観光課へ内線2551

**2月1日からキャッシュレス決済がスタート！
スマートフォンから市税が納付できるようになります**

専用アプリを利用して、市税をスマートフォンから納付できるサービスを開始します。納付書に印刷されているバーコードを読み取って決済することで、場所を選ばず手軽に納付することができます。ぜひ、ご活用ください。

対象税目

市民税・県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画法、軽自動車税種別割、国民健康保険税(普通徴収)
専用アプリ モバイルレジ、LINEPay、PayPay

利用上の注意

- ①事前に専用アプリのインストールが必要です
- ②パソコンやフィーチャーフォン(ガラケー)からの利用はできません
- ③納付書1枚につき30万円以下で、バーコードの利

用期限内の納付に限ります

- ④モバイルレジでクレジットカード決済を選択した場合、別途決済手数料がかかります
 - ⑤領収証書は発行されません(領収証書が必要な方は、金融機関やコンビニエンスストアなどの窓口で納付してください)
 - ⑥決済後の取り消しはできません
- 問合せ 収税課へ内線1079



▲アプリの詳細はこちら

2月12日(金)まで
募集します!

令和3年度「提案型」協働事業

市では、市民の皆さんと市との協働を推進することを目的に「提案型協働事業」を実施しています。市民の皆さんのニーズに合った公共サービスを実現するために、情報の提供や発信、経費などを支援し、事業を展開します。皆さんのまちづくりに対する想いをカタチにして、一緒に笑顔あふれる狭山をつくりませんか。

提案の種類は二つ

【市民提案型協働事業】
市民の皆さんが日頃から感じている公共的な課題をテーマとした自由な発想による協働事業です。市と協働で実施したい事業を自由に企画・提案してください。ただし、将来的に団体の自主事業として事業を継続することが求められます。

【行政提案型協働事業】
次の2つのテーマに沿った事業の提案を募集します。

- ①障害のある人もない人も楽しめる「スポーツ・ポッチャ」教室の開催
ポッチャは、パラリンピックの正式種目です。あらゆる人の健康増進とスポーツ活動を通じて共生社会の推進を目的として、ポッチャ体験教室を開催します。(障害者福祉課)
- ②シンサヤマミューラル事業
まちのイメージアップと身近な場

実施期間

より充実した事業とするため、事業期間と応募期間を変更しました。

4月1日～4年2月28日

応募できる団体

5名以上で、その過半数が市内在住・在勤・在学の会員で構成され、市内で活動する市民活動団体など

経費の支援

市民提案型協働事業は、事業内容によって補助金(50万円を上限、補助率の上限あり)を交付します。また、

応募方法

行政提案型協働事業は、募集テーマごとに設定する金額を上限として経費を支援します。

応募要項と申請書は、協働自治推進課に用意しています(ホームページからもダウンロード可)。2月12日(金)までに応募ください。

提案された事業の採択

書類審査後に公開プレゼンテーションを行い、狭山市協働推進委員会の審査を経て、3月下旬に事業を採択(予算の範囲内)する予定です。

※新型コロナウイルス感染症の影響で事業スケジュールを見直す場合があります



これまでに実施された「市民提案型協働事業」の成果

▼犯罪被害者等支援事業
犯罪被害者と交通事故被害者、その家族などの心の傷、精神状態の回復を目的として、講演会や交流会を開催しました。

▼障害のある人もない人も楽しめるピリヤード教室
ハンディキャップのある人となない人の共生を目指して、バリアフリースポーツであるピリヤードの体験講座を開催しました。

▼産後ケアネットワーク事業
子育て中の母親同士のネットワークを構築することを目的として、エクスサイズや料理教室を開催しました。

▼ボランティア体験発表会
ボランティア活動を行う個人団体の繋がりを構築することを目的に体験発表会を開催しました。

問合せ 協働自治推進課へ
内線2511